



市民協働で 住みよいまちへ!

～人と人をつなぐまちづくり～

本市は、平成27年4月に「四日市市市民協働促進条例」を施行しました。この条例は、市民活動が公共の場で果たす役割の大きさを市民一人ひとりが理解し、市民協働を促進させるための仕組みを定めたものです。

平成28年3月には、この条例に基づき総合的かつ計画的な市民協働の促進を図るため、市民協働に関する基本方針、目標、基本施策および主な取り組みを示した、「四日市市市民協働促進計画」を策定しました。

この特集では、自分も市民活動に参加したいと感じていただけるような、本市のさまざまな市民協働の取り組みを紹介します。

ちゃんねる
連動



今回の特集の内容は、市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します

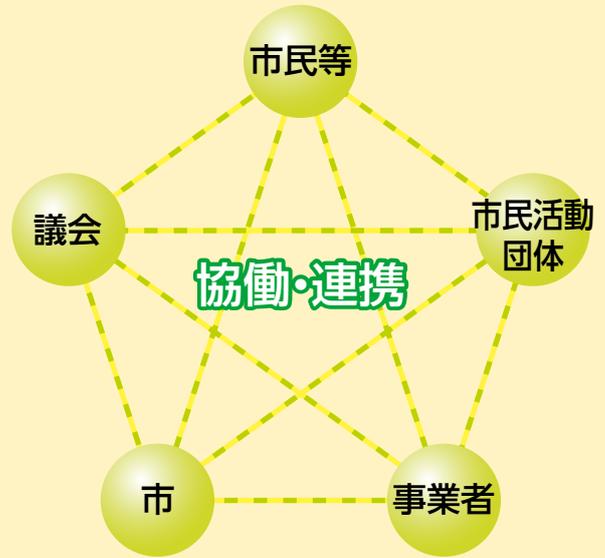
- 地デジ12ch(CTY)
- 11月21日(月)～30日(水)に放送
月・水・金・日曜日 9:30、20:30
火・木・土曜日 12:30、20:30

あなたも市民協働の担い手です!

地域の実情に合った、個性的で豊かな地域社会を築くためには、子育て支援、福祉、防犯、防災の分野をはじめ、地域に根ざした活動を行う市民活動団体や事業者など、さまざまな主体が「公共の担い手の一人」として、課題解決に協力して取り組むという意識を持つことが必要です。

市民協働促進条例では、市民協働の担い手として「市民等、市民活動団体、議会、事業者及び市」を挙げています。市民協働を促進するためには、それぞれの担い手が役割を理解し、「誰がどのように地域の課題を担うことが最適なのか」を考えることが、重要になります。

■市民協働の担い手と領域のイメージ



市民協働の心構え

[1]

対等な関係を
構築します

[2]

相互に
理解します

[3]

自主性と
自立性を
尊重します

[4]

公平・公正と
透明性を
確保します

[5]

目標と
検証結果を
共有します

市民協働で大切なこと

住みよいまちづくりのためには、市民協働の担い手が、それぞれの立場で役割を果たしていくことが大切です。市民協働を「自分のこと」として捉え、自分ができることを持ち寄り、お互いの活動を尊重しつつ、同じ方向に向かって連携して取り組みを進めることが必要となります。

そこで、より良い市民協働を実践するために、右図のような心構えを共有しましょう。

まちに広がる市民協働



なやプラザの概要と活動内容

市民活動の拠点はこんなところです

なやプラザは、市民活動団体の活動・交流の拠点として、市民の自主的な社会貢献活動やまちづくり活動、生涯学習活動を支援しています。

- 貸室や市民活動に関する相談業務など
- 自主事業の実施
市民活動グレードアップセミナーなど



なやプラザ

なやプラザ相談窓口

場所 蔵町4-17 受付時間 9:00~17:00
☎357-1370 FAX 357-1371



なやプラザ
総括マネージャー
金 憲裕さん

さまざまな市民活動の交差点

なやプラザは、会議室や印刷機、コピー機などを備え、市民活動を行う人々に対して、各種関連情報などを提供したり、相談に乗ったりする市民活動の拠点施設です。さまざまな市民活動団体を紹介する情報誌の発行や、広報力や会計事務などのスキルアップを目指す市民活動グレードアップセミナーなどの事業も行っています。

また、さまざまな市民活動の交差点でもあります。市民活動団体が相互に知り合い、協働し、自分たちだけではできなかった成果が生まれています。

11月13日(日)には、多様な市民活動団体や企業などの社会貢献活動を一堂に紹介する「市民協働まつり」を開催します。四日市市でどんな活動が行われているのか、ぜひ一度見に来てください。

まちづくり人材マッチング事業

埋もれていませんか?あなたの力

定年退職した人や出産を機に仕事を辞めた人など、地域で暮らす多様な技能を持つ人材の活躍の場づくりのため、人材と地域ニーズのマッチングを行っています。



相談窓口

まちづくり人材マッチング相談窓口

場所 安島一丁目3-31ララスクエア四日市4階
受付時間 平日10:00~17:00
☎355-1320 FAX 355-1321



まちづくり人材マッチング
事業実行委員会
事務局
若林 辰也さん

少しずつの知恵と行動を 出し合えるように

年齢や子育てが理由で退職した人たちに、知識や経験を生かして地域で活躍してもらうためのまちづくり人材マッチング事業を、市から受託して行っています。今までに行ったマッチングの例としては、個人で開催する映画上映会の手伝いや、塾へ行けない子どもたちにボランティアで勉強を教える学習支援などがありました。忙しい人が増えた現代社会においては、誰か一人が強力なリーダーシップを発揮するのではなく、多くの人たちが少しずつの知恵と行動を出し合うという形が合っていると感じています。

ララスクエア四日市4階に拠点がありますので、「私はこんなことができるんだけど」とか「どんな市民活動があるのか」など、気軽に相談に来ていただければと思います。



地域づくりマイスター養成講座

地域で輝く人が学んでいます

市民活動や市民協働に携わる人材の育成とネットワークの構築を目的とした講座を開催しています。

地域づくりマイスター養成講座の例

- 講義「地域社会と住民自治」
- コミュニケーション演習 ～米国ロングビーチ市の地域づくりリーダーシッププログラムの手法を参考に～
- 地域資源のマッピング演習 ～地域の宝を探すフィールドワーク～
- グループワーク「地域で市民活動・市民協働を進めるために」



地域づくりマイスター養成講座のひとつ

市民協働コーディネーター養成講座

地域づくりの仕掛け人になりませんか

市民活動団体など、さまざまな主体と連携することの必要性を理解して、実行する力を身に付けるための連続講座を開催しています。

対象 市民活動団体や中間支援(※)団体、市職員など

内容 市民活動を円滑に進めることができるよう、市民活動団体が現地でワークショップを行うなど、実践的な講座となっています。



※中間支援とは…… 市民協働に関わるさまざまな主体の間に立って、それぞれの活動の支援や連携を図ることを「中間支援」と言います。

四日市市内では、例えば、市内の地縁団体、NPO、事業者、労働組合、メディア、行政など、さまざまな主体によって設立された公益財団法人ささえあいのまち創造基金が、「人」「もの」「お金」で市民活動を応援する仕組みにより、社会の課題解決や地域の活性化などの公益活動を支える中間支援を行っています。

また、特定非営利活動法人四日市NPO協会も、市民、地縁団体、NPOが協働して活力ある地域づくりを進めるための中間支援を行っています。

本市では、上記に紹介した以外の市民活動団体についても、さまざまな分野で中間支援団体として活動していけるよう、支援の取り組みを進めています。

次のステージに向けて

市民協働促進計画での取り組み

市民協働を促進するため、市民協働促進計画では、次の4つを基本方針として定めています。各基本方針の主な取り組みの例を紹介します。

基本方針 1

市民協働を促進する意識づくりと人材育成

市民の市民活動への参加をより一層促すため、市民協働や市民活動についての意識づくりを進めるとともに、担い手となる人材の確保に向けた取り組みを進めます。



●プロボノ活動支援

プロボノとは、「職業上持っている専門知識などを生かして社会貢献するボランティア」を意味します。社会貢献をしたい人材と、そのような人材から支援を受けたい市民活動団体などのマッチングの機会を提供します。



●子どもたちの協働体験の実施

小・中学生を対象に、協働による地域づくりが体験できる講座やイベントを開催します。



●市民協働虎の巻(手引書)の作成

市民協働の担い手が市民協働への理解を深め、実践するための手引書を作成します。



基本方針 2

市民協働を促進する情報の発信と共有

市民協働に関わるさまざまな主体の相互理解を深め、共通認識を築けるよう、情報を効果的に発信していくとともに、相互の情報共有を円滑にする仕組みを構築します。

- 市民協働の理解を深める広報(右図)やイベント開催情報の提供
- 「なやプラザ市民協働まつり」の開催
- 市民協働情報のプラットフォーム化





基本方針 3

市民協働を促進する市民活動団体の育成・強化

それぞれの地域課題について、効果的な市民協働が展開できるよう、さまざまな主体間をつなぐ中間支援団体の充実を図ります。

中間支援団体は、全体的な観点から市民活動団体相互の連携、情報交換の場やノウハウの提供、活動の助言を行っています。これからは、人材育成やコーディネート機能について、充実・強化が求められます。

- 中間支援団体による人材育成やコーディネート機能の強化
- 協働委託の推進



市民活動団体のネットワーク形成に向けた会議

基本方針 4

市民協働を促進する市民活動の活性化

市民活動団体の活動が活性化し、その中から市民協働がより一層展開されていくよう、活動拠点の拡充や活動の場づくりを進めるとともに、支援の充実を図ります。

- 市民が選ぶ市民活動支援の仕組みの検討
- なやプラザの機能充実



なやプラザのサロンスペース

そして、協働でつながる住みよいまちへ！

多様な産業が集積する四日市には、ものづくりをはじめ、さまざまな分野の技術や知識が蓄積され、さらに、素晴らしい能力を持った人材がたくさんいます。

一人ひとりができること、やりたいことを持ち寄って、身近なところで起こっている地域課題を一つずつ解きほぐし、今よりもっと住みよいまちにしていきましょう。

活躍している地域づくりのリーダーは、「地域での小さなきっかけから最初の一步を踏み出し、その輪が広がっていくと、活動が自然に好転し始めた」と話しています。そのためにも、市民の皆さんの力が必要です。

本市は、人と人が緩やかにつながり、その小さな輪が広がっていくような「協働の意識が息づくまち」を目指します。

編集後記

市民協働は、決して難しいことではなく、身近な課題に気付いた人が行動するところから始まります。市民の皆さんが、自分の周りにある課題に関心を持ち、初めの一步を踏み出せるよう、協働による地域づくりの取り組みを進めていきたいと思えます。(市民協働安全課 後藤、広報広聴課 老谷)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は **市民協働安全課 ☎354-8179 FAX 354-8316**
広報広聴課 ☎354-8244 FAX 354-3974